

本願力

横浜別院だより

【慶讃法要団体参拝（真宗本廟）】



次なる一步

輪番 森田 成美

〒234-0051

【発行】真宗大谷派 本願寺横浜別院

横浜市港南区日野一―十一八

(〇四五) 八四一―三四三八

(〇四五) 八四一―三四二八

FAXTEL
(http://www.yokohama-ootani.com)

の誓い、「世のなか安穩なれ、仏法ひろまれ」との宗祖聖人の願いに導かれ、同朋社会の実現を期し、あまねく御同朋とともに慶讃法要を厳修いたします。とその意義を表明して下さいました。また、

百年前の「立教開宗七百年記念法要」では、「同朋唱和」という言葉が生まれました。五十年前の慶讃法要の「生まれた意義と生きる喜びを見つけよう」というスローガンは、今でも大切な言葉となつて、私たちの心に刻まれています。このたびの「南無阿弥陀仏 人と生まれたことの意味をたずねていこう」というテーマも、それを受け継いで定められました。

とその願いが継がれてきたことを表白されました。本山・真宗本廟に於ける慶讃法要の円成は、次なる一步の始まりなのでしよう。その進む方向を慶讃テーマ「南無阿弥陀仏 人と生まれたことの意味をたずねていこう」が指し示しているのです。

難波別院発行の『南御堂』五月号の「南御堂の掲示板」には、「人生で最も重要な二つの日は 生まれた日と その理由を見出した日だ」という『トム・ソーヤの冒険』で有名な米国の小説家マーク・トウェインの言葉が掲載されていました。私も生まれた日は聞いて知っているのですが、その理由を見出し出しているのかと言えはば、二つ目の重要な日を迎える次なる一步を進めて行きたいと願うことであります。

早やひと月過ぎる事ですが、四月二十九日、宗祖親鸞聖人御誕生八百五十年・立教開宗八百年慶讃法要の第二期法要の結願の日、横浜別院同朋の会の皆さんと総勢十四名で真宗本廟に参詣させていただきました。全国各地からご参拝の御同朋御同行で阿弥陀堂・御影堂満堂の中、参堂列の庭儀から楽附の厳かな法要次第がお勤まりになり、参拝者のお見送りの舞樂が白洲の舞樂台で行なわれ、晴れやかに円成を迎えられたこととであります。横浜別院の輪番の役務を拝する中、五十年に一度の御法縁を頂きましたこと、望外の喜びであり、衷心より感謝申し上げます。さて、本山・真宗本廟に於ける慶讃法要は無事円成致しましたが、慶讃法要厳修の意義は次の五十年に引き継がなければなりません。『表白』の中で御門首は、「名声超十方」、すなわち「あらゆる世界を超えて、我が名よ響け」との法蔵菩薩

— 各法要 (おつとめ・ご法話) のご案内 —

～どなたもご自由にお参りください～

盂蘭盆会法要 午後1時30分より

7月15日(土)・16日(日)

【法話】岩崎俊文 師

(三浦組浄栄寺衆徒)

皆様とご一緒に、お盆を仏法聴聞の機縁として、亡き人々からの尊い呼びかけに伝えていきたいと存じます。どうぞご参詣ください。

定例法話 午後1時30分より

6月9日(金)三浦組 圓照寺 稲垣裕之 師

6月28日(水)別院 輪 番 森田成美

7月9日(日)湘南組 三寶寺 目崎明弘 師

7月28日(金)別院 列 座 家本久和

8月9日(水)東京2組 専念寺 田澤廣明 師

8月28日(月)別院 列 座 佐竹大樹

※法話終了後の「座談会」は5月より再開しています。

正信偈の会 (お勤めのお稽古)

8月18日(金) 午後1時30分～3時

11月18日(土) 午後1時30分～3時

内容は、正信偈のお稽古を中心に行ないます。

講師は別院僧侶が務めます。

事前申し込み不要です。初心者歓迎♪

《持ち物》念珠、赤本等の勤行本。※勤行本

をお持ちでない方はこちらで準備します。

横浜別院同朋の会・おみがき会

6月17日(土) 10時30分～12時

本堂の仏具を磨きます。軽食あり。

※古くなったタオルをお持ちください。

《2023年度第1回声明儀式研修会》

6月16日(金)13時30分～16時30分

【講師】友松雅英 師(東京2組 西岸寺住職)

【講題】「三帖和讃」

【参加費】1,000円 ※事前申し込み制

【持ち物】間衣・輪袈裟・念珠、『大谷声明集(上)』又は『真宗大谷派声明集』等

《考えてみませんか、終活を》(全4回)

7月23日(日)14時～16時(受付13時半)

【講師】古屋恭子 氏(心理学講師)

【講題】「エンディングノートを作ってみよう」

【参加費】1,000円 ※事前申し込み制

《暁天講座》

8月19日(土)・20日(日)

午前7時～8時45分

【参加費】無料 ※事前申し込み不要です。

【講師】<19日> 白山勝久 師

(東京5組 西蓮寺副住職・宗祖親鸞聖人御誕生八百五十年・立教開宗八百年慶讃法要テーマに関する教学委員会委員)

【講題】「南無阿弥陀仏のある生活」

.....

【講師】<20日> 岡本一平 氏

(慶応義塾大学非常勤講師・東洋大学東洋研究所客員研究員)

【講題】「浄土教の<起源>としての浄影寺慧遠」

■両日、パンと豆乳をお配りします。

グリーンケアのつどい

【日時】 6月17日(土) 午後2時～

8月5日(土) 午後2時～

10月7日(土) 午後2時～

※参加費・申し込みは不要です。

詳細はチラシをご覧ください。

編集後記

本山・真宗本廟に於ける慶讃法要に個人として三日間出仕し、別日で団参として参詣させていただきました。同朋新聞(二〇二三年四月号)に「五十年に一度の慶讃法要。二〇一七年に慶讃法要準備本部を設置、宗務審議会での協議や、全区での内局巡回を経て、二〇一九年に慶讃事業本部を設置、慶讃テーマが発表されました。…」と書いてありました。つまり、二〇一七年起点を数えると、六年間の歳月をかけて、慶讃法要が勤まったわけですね。その六年という時間の裏側には、目に見えませんが数え切れないほどの方々の苦勞があるわけです。それだけの時間の重みが、慶讃法要に詰まっていたことに、なかなか気付けない私がいまいました。世の中が、豊かに、便利になることで、ますます感動がなくなってしまうように思います。(家本)